

第6学年5組 社会科学学習指導案

1 単元 近代国家を目ざして

2 目標

- 日本の国力が充実し国際的地位が向上したことについて理解するとともに、絵画・写真資料や統計、年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 条約改正に向けた取り組みの特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会にみられる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりすることができるようにする。
- 条約改正に向けた取り組みについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かすことができるようにする。




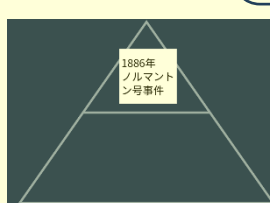



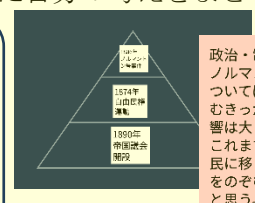
3 単元計画 (9 時間)

段階	配時	学習活動	手立て
見 通 す	1 ¹ /2/9	1 年代ごとに各出来事や人物の概略をおさえ、なぜ不平等条約を改正できたのかを予想し、学習問題を作る。 ○ 年代ごとに各出来事や人物の概略を確認し、単元の学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (学習問題) 不平等条約は、どのようにして改正されたのだろうか。また、不平等条約改正後、日本と世界の国々との関係はどのように変わっていったのだろうか。 </div>	○ 年表を基に、条約改正の歩みや国際的地位の変化への関心を高め、学習問題をつくることのできるようにするために、「なぜ、条約改正ができたのだろう」と問いを焦点化する。
	3/9	○ 不平等条約は、どのようにして改正されたのだろうか。また、不平等条約改正後、日本と世界の国々との関係はどのように変わっていったのかを予想する	
行 う	4/9	2 不平等条約改正に至った歴史的背景を調べ、考えをロイロノートにまとめ、交流する。 ○ 事象同士の因果関係を結びつけ、不平等条約改正に至った歴史的背景について調べ、考えをまとめ、同じ事象で考えた同士で話し合い、自分の考えを見直す。	○ 歴史の事象同士を結び付け、視覚的に分かりやすくするために、シンキングツールを使い、学習問題に結びつく事象のカードをする。 ○ 「自分の考え」の手ごたえ確かめることができるようにするために、社会的事象ごとにグループをつくる。そして、自分と同じ内容や違う内容を比較できる場を設定する。
	5/9	○ 話し合いをもとに、改めて、事象同士の因果関係を結びつけ、不平等条約改正に至った歴史的背景について調べ、考えをまとめる。	
	6/9	3 不平等条約改正に至った理由を全体で交流し、自分の考えの練り直しをする。 ○ 不平等条約改正に至った歴史的背景について自分の考えを交流する。 ・自分の考えと同じ歴史的背景を考えている人と交流したり、自分の考えとは違う歴史的背景を考えている人と交流したりする。 ○ 交流を受けて、自分の考えを見直す。 ・自分の考えと同じ歴史的背景で考えている人の意見を聞いたり、違う意見を聞いたりして、自分の考えを付加・修正・強化をする。	
振 り 返 る	7/9	4 くらしと社会の変化についてまとめる。 ○ 不平等条約改正後、日本の産業や化学がどのように発展していったのかを考える。	○ 条約改正に影響を与えた出来事について整理しやすくするために、それぞれの出来事について、年表にまとめ、「目ざしたこと」、「条約改正への歩み」、「そのころ活躍した人」を確認する。
	8/9	○ 学習してきた条約改正が達成されるまでの年表をもとに、まとめ、確かめる。	
振 り 返 る	9/9	○ 条約改正について調べたことや考えたことをまとめたこと基に、学習問題に対する結論について話し合う。	

4 主眼

考えを形成する活動において事象の相互関係や時間の流れに着目して、二つの戦争や大日本帝国憲法の制定、帝国議会の開設、医学の分野で活躍した日本人等の事象同士を関連付けたり総合したりして、条約改正に至るまでの経緯をまとめることができるようにする。

5 本時過程 **自己選択・自己決定の場(つなぎタイム)**

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て (○) と評価 (◇)	配時
導入	<p>1 年表で出来事を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>不平等条約を改正した背景には何があったのか、これまでの資料をもとにして自分の考えをつくろう。</p>	<p>○ 不平等条約改正に至るまでの社会的事象を確認するために、年表を見出来事を振り返る。</p>	5
展開	<p>2 不平等条約改正に至った歴史的背景について自分の作った思考ツールを確認し、その考えに付加・強化・修正をする。</p> <p>○ 自らの課題を解決するための取組を選択し、自分の考えをつくる。 【内容選択】</p> <p style="text-align: center;">なぜ、不平等条約を改正できたのか</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ノルマントン号事件を通して国民のなかで、改正をのぞむ声が上がったことが大きいと思うな。同じカードを選んだ人から聞いてみようかな。</p>  </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 30%;"> <p>私は戦争を通して、日本が海外の国と対等なくらい強くなったから、不平等条約の改正につながったと思う。今日は、条約について自分で調べてみようかな。</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>政治・制度</p> <p>ノルマントン号事件の治外法権については多くの国民が改正をのぞむきっかけになったと思うから影響は大きいと思う。</p> </div> </div> <p>前時までにつくった思考ツール</p> <p style="text-align: center;">【個別と協働の一体的充実】</p> <p style="text-align: center;">自分と似た考えをもった友達との交流や、調べ学習を行う。</p> <p style="text-align: center;">個の考えに対する「付加」「修正」「強化」を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自由民権運動を起こしたことで、国民が政治に参加する権利が生まれたことは、これまでの日本を変えていく上で大切だと思ったよ。</p>  </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>戦争の賠償金をもとに、重工業が発展したことで、大砲や軍艦をつくれるようになった。その結果、国力を強くすることができた。</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">【似た事象の友達との交流】 【自分での調べ学習】</p> <p style="text-align: center;">「不平等条約が改正された背景には何があったのか」についてより深まった自分の考えへ</p>	<p>○ 「自分の考え」を付加・修正・強化をすることができるようにするために、ロイノート思考ツールを用いて他の人の考えを可視化しておく。 (ICT)</p> <p>○ 【成果】</p> <p>思考ツールの活用、ICTの共有機能を用いて自分の考えを可視化できたことで、自分と同意見の人との交流や、考えの付加・強化・修正につながりやすくなった。</p> <p>△ 【課題】</p> <p>同一の考えのみの交流でなく、観点についても横断的に交流の時間をとることができれば、より個別の課題を意識できた。</p> <p>◇ 自分の本時の内容選択をし、自分の考えに付加・修正・強化して不平等条約改正の背景を説明できるようにしている。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表】</p> <p>○ 自分の学びについて評価することができるように、振り返りの視点を示し、振り返りを書く場を設定する。</p>	10
終末	<p>3 不平等条約改正に至るまでの歴史的背景について、付加・修正・強化した自分の考えをまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>事件に加えて、国民の政治参加の仕組みをつくっていったことも大切だと思い、付け加えました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>政治・制度</p> <p>ノルマントン号事件の治外法権については多くの国民が改正をのぞむきっかけになったと思うから影響は大きいと思う。これまでの政策を決める主権が国民に移ったことで、より条約改正をのぞむ声が高まる理由になったと思う。</p> </div> </div> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>友達の考えから、不平等条約の改正には、世界で活躍する人の存在も影響していたのではないかと考えることができました。次の学習では、経済や活躍した人の存在のほかにどんな背景があるのか、違った考えの友達と交流したいと思う。</p>	<p>◇ 自分の本時の内容選択をし、自分の考えに付加・修正・強化して不平等条約改正の背景を説明できるようにしている。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表】</p> <p>○ 自分の学びについて評価することができるように、振り返りの視点を示し、振り返りを書く場を設定する。</p> <p style="text-align: center;">振り返りの視点</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと、分からなかったこと ・使った方法・気づいた友達の発言 ・次の学習でもっと考えたいこと </div>	5